英文法 L01 第 51 講 前置詞と接続詞の違い

学習目標

後続が名詞句か節かを根拠に前置詞と接続詞を区別することができる。

定義

前置詞は、この講で扱う基本形では、後ろに名詞句を続けて、ほかの語との関係を表す語である。本講で扱う because / although は、主語と述語を含む節を導く接続詞である。

because of と despite は前置詞表現、because と although は節を導く接続詞である。どちらも理由や譲歩に関係する表現だが、意味だけで判断せず、後ろに続く語句の形を確認する。

because of と because の違い

because of と because は、どちらも理由を表すが、使い分けは後ろに続く語句の形で判断する。

名詞句とは、名詞を中心とした語のまとまりである。本講の基本例では、節を主語と述語を含む語のまとまりとして扱う。

この基本形では、**because of の後ろには名詞句、because の後ろには節が続く**。 意味だけで判断せず、後ろの形を確認することが重要だ。

例 1：because of ＋ 名詞句

The game was canceled because of the rain. 試合は雨のため中止になった。

because of の後ろには the rain という名詞句が続いている。

例 2：because ＋ 節

The game was canceled because it rained. 雨が降ったので、試合は中止になった。

because の後ろには、主語 it と述語 rained を含む節が続いている。

despite と although の違い

譲歩とは、ある状況から予想されることとは異なる内容を述べる関係である。この基本形では、despite と although はどちらも譲歩を表すが、後ろに続く語句の形が異なる。

despite ＋ 名詞句

Despite the bad weather, we went out. 悪天候にもかかわらず、私たちは外出した。

despite の後ろには the bad weather という名詞句が続いている。基本形では、despite の後ろに名詞句を置き、despite of とはしない。

although ＋ 節

Although the weather was bad, we went out. 天気が悪かったけれども、私たちは外出した。

although の後ろには、主語 the weather と述語 was bad を含む節が続いている。

このように、どちらも同じ場面で使えるが、despite の後ろには名詞句、although の後ろには主語と述語を含む節が続くことを根拠に使い分ける。

©ミライコーチング



図 1　理由・譲歩の表現は、意味に加えて後続が名詞句か節かで使い分ける。

例題

1

空所に入る最も適切な語句を選べ。

Rain was the reason. The game was canceled (　　) it rained heavily.

A. because of

B. because

C. despite

D. although

解答・解説

正解：B. because

完成英文と和訳

Rain was the reason. The game was canceled because it rained heavily.

雨が理由だった。雨が激しく降ったため、試合は中止になった。

空所の後ろにある it rained heavily に注目する。it が主語、rained が述語であり、主語と述語を含む節になっている。理由を表す節を導く because が適切だ。

The game was canceled because it rained heavily.

節 [clause]: “it rained heavily”

主語 [subject]: “it” / parent: clause

動詞 [verb]: “rained” / parent: clause

A. because of は前置詞表現で、後ろには名詞句が続く。この問題では節が続くため適切ではない。

©ミライコーチング

B. because は接続詞で、後ろに節が続く。it rained heavily は主語と述語を含む節であり、雨が中止の理由だという文脈にも合う。

C. despite は前置詞で、基本形では後ろに名詞句が続く。節をそのまま続ける形は適切ではない。

D. although は節を導く接続詞なので、後続の形には合う。ただし、譲歩を表すため、雨を中止の理由とする文脈には合わない。別の文脈では自然に使える表現である。

2

空所に入る最も適切な語句を選べ。

The rain did not stop us. We went out (　　) the heavy rain.

A. although

B. despite of

C. despite

D. although of

解答・解説

正解：C. despite

完成英文と和訳

The rain did not stop us. We went out despite the heavy rain.

雨は私たちを思いとどまらせなかった。私たちは激しい雨にもかかわらず外出した。

空所の後ろにある the heavy rain は名詞句である。despite の後ろには名詞句 the heavy rain が続いている。悪天候なら外出を控えると予想されるが、実際には外出したという譲歩の関係を表す。



図 2　despite の後ろには名詞句 the heavy rain が続く。文全体では、激しい雨にもかかわらず外出したことを表す。

We went out despite the heavy rain.

名詞句 [noun-phrase]: “the heavy rain”

A. although は譲歩を表す接続詞だが、後ろには主語と述語を含む節が必要である。名詞句 the heavy rain が直接続く形にはできない。

B. despite of という形は使わない。基本形では despite の後ろに名詞句を続け、despite of とはしない。

C. despite は前置詞で、後ろに名詞句 the heavy rain が続いている。悪天候なら外出を控えると予想されるが、実際には外出したことを表すため適切である。

D. although of という形は使わない。although は接続詞であり、of を続けて名詞句につなぐことはできない。although を使うなら、後ろに主語と述語を含む節を置く必要がある。

演習問題

1

理由を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

The bus arrived late (　　) a traffic jam.

語注：traffic jam＝交通渋滞

A. because

B. because of

C. despite

D. although

2

理由を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

The guide changed the route (　　) the bridge was closed.

語注：route＝ルート、道順

A. because

B. because of

C. despite

D. although

©ミライコーチング

3

理由を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

Ben stayed home (　　) a bad cold.

語注：a bad cold＝ひどい風邪

A. because

B. although

C. despite

D. because of

4

理由を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

Kai charged his phone (　　) the battery was almost empty.

語注：charged＝充電した、battery＝バッテリー

A. because of

B. despite

C. because

D. although

5

譲歩を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

Mika kept running (　　) the strong wind.

語注：kept running＝走り続けた

A. because

B. although

C. despite

D. because of

©ミライコーチング

6

譲歩を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

The team kept practicing (　　) they were tired.

語注：kept practicing＝練習を続けた

A. despite

B. because of

C. because

D. although

7

譲歩を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

Ken attended class (　　) his headache.

語注：attended class＝授業に出席した、headache＝頭痛

A. despite

B. because

C. although

D. because of

8

譲歩を表す文になるように、空所に入る最も適切な語句を選べ。

The student finished the test (　　) she felt sick.

語注：sick＝具合が悪い

A. because of

B. although

C. despite

D. because

©ミライコーチング

演習問題の解答・解説

1

正解：B. because of

完成英文と和訳

The bus arrived late because of a traffic jam.

バスは交通渋滞のため遅れて到着した。

空所の後ろにある a traffic jam は、名詞を中心とした名詞句である。理由を表し、後ろに名詞句を続ける because of が適切だ。意味だけでなく、後続の形を根拠に判断する。

A. because は理由を表す接続詞で、後ろには主語と述語を含む節が必要である。名詞句 a traffic jam が直接続くため不適切だ。

B. because of は理由を表す前置詞表現で、後ろに名詞句が続いているため適切だ。

C. despite は名詞句を後ろに続ける譲歩表現で、文法的には成立するが、理由を表すという設問条件に合わない。

D. although は譲歩を表す接続詞で、後ろには節が必要である。名詞句が続くため不適切だ。

2

正解：A. because

完成英文と和訳

The guide changed the route because the bridge was closed.

橋が閉鎖されていたため、ガイドはルートを変更した。

空所の後ろにある the bridge was closed に注目する。the bridge が主語、was closed が述語であり、主語と述語を含む節になっている。理由を表す節を導く because が適切だ。

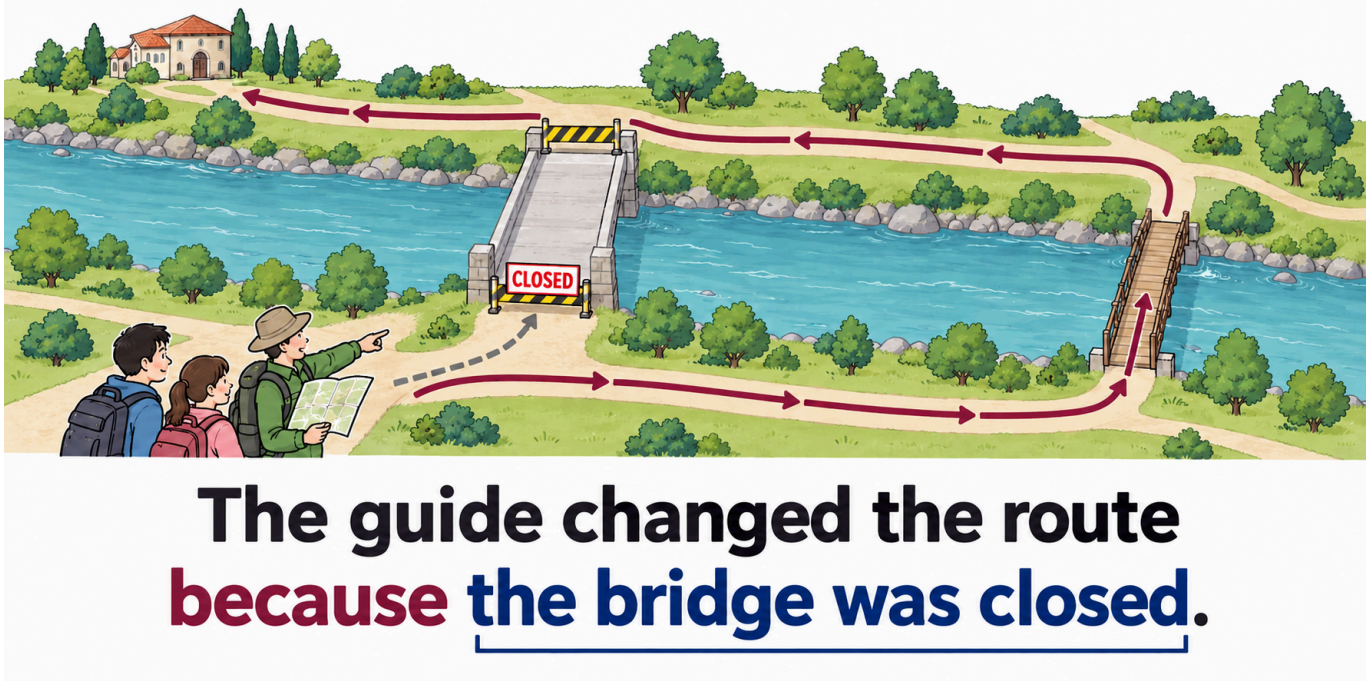


図 3　because は節 the bridge was closed を続け、ルートを変更した理由を表す。

A. because は理由を表す接続詞で、後ろに節が続いている。橋の閉鎖がルート変更の理由となるため適切だ。

B. because of は後ろに名詞句を続ける表現である。節 the bridge was closed が続くため不適切だ。

C. despite は譲歩を表し、基本形では後ろに名詞句を続ける。節が直接続く形は不適切だ。

D. although は後ろに節を続ける接続詞なので、文法的には成立する。ただし、譲歩を表す表現であり、理由を表す文にするという設問条件には合わない。

3

正解：D. because of

完成英文と和訳

Ben stayed home because of a bad cold.

ベンはひどい風邪のため家にいた。

空所の後ろにある a bad cold は、名詞を中心とした名詞句である。理由を表し、後ろに名詞句を続ける because of が適切だ。

A. because は理由を表す接続詞で、後ろには主語と述語を含む節が必要である。名詞句 a bad cold が直接続くため不適切だ。

B. although は譲歩を表す接続詞で、後ろには節が必要である。名詞句が続くため不適切だ。また、理由を表すという設問条件にも合わない。

C. despite は後ろに名詞句を続ける譲歩表現であり、構造上は名詞句と組み合わせられる。ただし、風邪を理由として家にいたことを表す設問条件には合わない。

D. because of は理由を表す前置詞表現で、後ろに名詞句 a bad cold が続いているため適切だ。

4

正解：C. because

完成英文と和訳

Kai charged his phone because the battery was almost empty.

バッテリーの残量がほとんどなかったので、カイは携帯電話を充電した。

空所の後ろにある the battery was almost empty に注目する。the battery が主語、was almost empty が述語であり、主語と述語を含む節になっている。理由を表す節を導く because が適切だ。

A. because of は後ろに名詞句を続ける理由表現である。the battery was almost empty は節なので、そのまま続ける形は不適切だ。

B. despite は譲歩を表し、基本形では後ろに名詞句を続ける。節が直接続く形は不適切であり、理由を表すという設問条件にも合わない。

C. because は理由を表す接続詞で、後ろに節が続いている。バッテリーの残量がほとんどなかったことが充電の理由となるため適切だ。

D. although は後ろに節を続ける接続詞なので、文法的には成立する。ただし、譲歩を表す表現であり、理由を表す文にするという設問条件には合わない。

5

正解：C. despite

完成英文と和訳

Mika kept running despite the strong wind.

強い風にもかかわらず、ミカは走り続けた。

判断するのは、主節 Mika kept running ではなく、空所の後ろに続く the strong wind である。これは名詞句なので、名詞句を後ろに続けて譲歩を表す despite が適切だ。強い風なら走るのをやめると予想されるが、実際には走り続けたという関係を表す。

A. because は理由を表す接続詞で、後ろに主語と述語を含む節が必要である。名詞句が続くため不適切だ。

B. although は譲歩を表す接続詞だが、後ろには節が必要である。名詞句 the strong wind が直接続く形にはできない。

C. despite は後ろに名詞句を続け、譲歩を表すため適切だ。

D. because of は後ろに名詞句を続けるため、構造上は成立する。ただし、理由を表す表現であり、譲歩を表す文にするという設問条件には合わない。

6

正解：D. although

完成英文と和訳

The team kept practicing although they were tired.

チームは疲れていたが、練習を続けた。

判断するのは、主節 The team kept practicing ではなく、空所の後ろに続く they were tired である。they が主語、were tired が述語であり、主語と述語を含む節になっている。節を導いて譲歩を表す although が適切だ。疲れていれば練習をやめると予想されるが、実際には練習を続けたという関係を表す。

A. despite は基本形では後ろに名詞句を続ける。節 they were tired が直接続くため不適切だ。

B. because of は理由を表す表現で、後ろには名詞句が続く。節が続くため不適切であり、譲歩を表すという設問条件にも合わない。

C. because は後ろに節を続けるため、文法的には成立する。ただし、理由を表す接続詞であり、譲歩を表す文にするという設問条件には合わない。

D. although は後ろに節を続け、譲歩を表す接続詞である。後続の形と文の意味の両方に合うため適切だ。

7

正解：A. despite

完成英文と和訳

Ken attended class despite his headache.

ケンは頭痛があったにもかかわらず、授業に出席した。

空所の後ろにある his headache は名詞句である。名詞句を後ろに続けて譲歩を表す despite が適切だ。頭痛があれば授業を休むことも考えられるが、実際には出席したという、予想に反する関係を表している。

A. despite は後ろに名詞句を続け、譲歩を表すため適切だ。

B. because は理由を表す接続詞で、後ろには主語と述語を含む節が必要である。名詞句が続くため不適切だ。

C. although は譲歩を表す接続詞だが、後ろには節が必要である。名詞句 his headache が直接続く形にはできない。

D. because of は後ろに名詞句を続けるため、構造上は成立する。ただし、理由を表す表現であり、譲歩を表す文にするという設問条件には合わない。

8

正解：B. although

完成英文と和訳

The student finished the test although she felt sick.

その生徒は気分が悪かったが、テストを最後まで終えた。

空所の後ろにある she felt sick に注目する。she が主語、felt sick が述語であり、主語と述語を含む節になっている。節を導いて譲歩を表す although が適切だ。気分が悪ければテストを最後まで終えるのが難しいと考えられるが、実際には終えたという関係を表している。

A. because of は後ろに名詞句を続ける理由表現である。節 she felt sick が続くため不適切だ。

B. although は後ろに節を続け、譲歩を表す接続詞である。後続の形と文の意味の両方に合うため適切だ。

C. despite は基本形では後ろに名詞句を続ける。節が直接続く形にはできない。

D. because は後ろに節を続けるため、文法的には成立する。ただし、理由を表す接続詞であり、譲歩を表す文にするという設問条件には合わない。